



ペリー提督・横浜上陸の図（横浜開港資料館所蔵）

企画展

# 横浜と富岡を結ぶ絹の道

◆◆◆ ～開港から世界へ、近代日本を支えた生糸～ ◆◆◆

令和8年 9月2日 水 >>> 9月24日 木

開場時間 9時～17時（最終入場は16時30分）

会場 富岡製糸場 西置繭所 多目的ホール

入場料 観覧には富岡製糸場の見学料が必要です。※富岡市民は無料

主催 群馬県（協力：横浜開港資料館）

問い合わせ先

群馬県 地域創生部 文化遺産課

TEL: 027-226-2525 E-mail: bunkai@pref.gunma.lg.jp



令和8年度文化芸術振興費補助金（文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業）

世界遺産「**富岡製糸場と絹産業遺産群**」は、日本の近代化を支えた養蚕・製糸の技術と、その発展を今に伝える重要な遺産です。

そして、横浜は、幕末の開港以降、生糸輸出の拠点として急速に発展し、群馬をはじめとする生糸の生産地と「**絹の道**」によって結ばれていました。

日本の近代化において、横浜と富岡はどのような役割を果たしたのでしょうか。

本企画展で分かりやすくお伝えします。



上州富岡製糸場（群馬県立歴史博物館所蔵）



神奈川横浜新開港図（同上）

## 主な展示内容

### プロローグ

～富岡と横浜をつなぐ絹の道～

### 横浜開港のインパクト

～上州と横浜を結んだ、三人の商人～

### 富岡製糸場と絹産業遺産群

～4つの構成資産の役割～

### エピローグ

～横浜へ出かけよう～



## 交通の御案内 - Access -



上信電鉄上州富岡駅から徒歩15分



上信越自動車道富岡IC下車、  
各駐車場まで約10分（3km）  
駐車場より徒歩約10分（500m）